

**DATA：消化器内科**

- 日本内科学会認定教育施設 ●日本消化器病学会認定施設 ●日本消化器内視鏡学会認定施設 ●日本肝臓学会認定施設
- 主な対象疾患：【上部消化管】胃炎、胃潰瘍の診断・治療、胃がんの精密検査および内視鏡治療など【下部消化管】大腸ポリープ、大腸がんの診断、内視鏡治療、潰瘍性大腸炎、クローン病など【胆・膵疾患】胆石、胆のう炎、膵炎、胆管がん、膵がんなど【肝疾患】B型、C型ウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、脂肪肝など



◀診療科HP

## ポイントは“内視鏡治療”

当科は消化器がん、炎症性腸疾患などの消化管疾患、慢性肝炎や肝硬変、胆石、膵炎などの肝胆膵疾患など幅広く消化器疾患を診療対象としています。今年度より新たに2名の常勤医が加わり、スタッフ医師7名、後期研修医3名体制で診療にあたっています。とくに内視鏡による検査と治療に力を入れており、検査室も増設し、3室から4室となったことでより多くの処置が可能になりました。



## 内視鏡治療： 超音波内視鏡の導入

従来より内視鏡的止血処置、早期がんに対するEMR(内視鏡的粘膜切除術)やESD(内視鏡的粘膜下層切開剥離術)、胆膵疾患に対する内視鏡的処置などを幅広く行ってきましたが、さらに胆膵疾患を専門とし超音波内視鏡による治療を得意とする中村健二医師が加わったことで、治療の範囲が大幅に広がりました。

超音波内視鏡では消化管内から超音波検査を行うことができます。体表からの検査に比べ他臓器などの

# 超音波内視鏡で低侵襲性検査・治療を

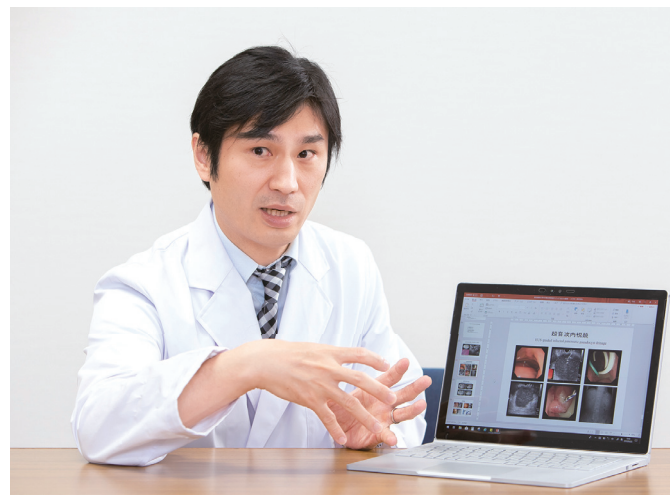
影響がなく、高い分解能の画像を得ることができます。超音波内視鏡による診断・治療には100症例ほどの経験が必須といわれていますが、当院の中村医師は早期から超音波内視鏡の可能性に注目し、経験豊富な指導医のもとで研修を行いながら3,000件以上と多くの症例で実践を積んできたスペシャリストです。

## 胆膵疾患の検査に活用

超音波内視鏡では消化管壁の内部や消化管の外側にある臓器を高解像度で見ることができ、胆膵病変ではその効果を大いに発揮します。CTや体外からの超音波検査では得られない詳細な画像を用いて病変部の組織採取および組織診断を行うことができ、低侵襲でより正確な診断が可能となります。

近年、膵がんは増加傾向にあるといわれており、膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)は悪性化する確率が高いともいわれています。これらの検査においても超音波内視鏡の有用性が、ガイドラインにも示されています。疑い症例でもお気軽にご相談ください。

この他にも腹腔内のリンパ節へのがん転移を検査しステージを確定したり、消化器がんの粘膜下への進行度を確認することもできます。また肺がんの副腎や



# 診療科の連携で、よりよい方針を導く

消化器内科

縦隔リンパ節への転移の検査にも大きな力を発揮します。

## 超音波内視鏡下瘻孔形成術

胆管狭窄に対しては、従来、ERCPによる十二指腸乳頭部からのステント留置や経皮経肝の胆道ドレナージが選択されてきましたが、超音波内視鏡下瘻孔形成術による胆道ドレナージでは十二指腸乳頭部を介さずに胃や十二指腸からチューブを留置できるため、ドレーン管理等の手間が減り、患者さんの負担が大幅に軽減しました。また臍仮性嚢胞では胃から嚢胞を穿刺して胃内からステントを通す治療にも応用されています。

## 外科、放射線科と連携して

以上のように超音波内視鏡によって治療の幅が拡大しました。そのうえで最も重要なのが他科との緊密な連携です。胆、膵を得意とする外科や放射線科とは週に1度合同カンファレンスを行い、最適な治療法を決定しています。また、外科との連携は内視鏡治療におけるリスク対応への強い支えにもなります。

内視鏡は今、次々に新たな技術が登場しています。当科は今後も内視鏡による検査・治療を通して、患者さんに負担の少ない診療を提供していきます。

### Dr's profile



Hiroshi Kishikawa

岸川 浩 医師



#### 専門分野

消化管疾患（とくに小腸疾患、炎症性腸疾患、ピロリ菌感染症）を得意としています。

#### 出身

東京都世田谷区で生まれ、幼少期の3年間をインドのニューデリーで過ごしました。

#### スポーツ歴

学生時代はバドミントンをしていました。



#### 医師になったきっかけ

すでに亡くなった祖父が医師であり、その話を聞いて育ちました。医療を通じて人を救うという確かな手応えを感じて生きていければと考え、医師を目指しました。

#### 趣味

ランニングをしています。週末に江戸川沿いを走っています。ほかには筋トレをして鍛えるのが好きです（その後のビールも）。

#### 座右の銘

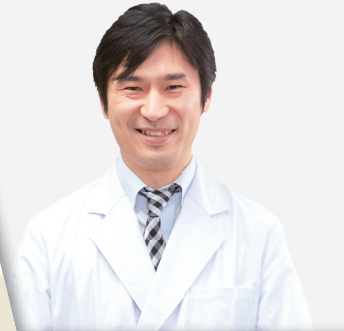
継続は力なり

### Dr's profile



Kenji Nakamura

中村 健二 医師



#### 専門分野

胆膵系疾患が専門。ERCP、EUS、EUS-FNAを得意としています。

#### 出身

宮城県仙台市生まれ。小学3年生からは東京大田区に引っ越し、以降ずっと在住です。



#### スポーツ歴

野球、サッカー、テニスなどを経験しました。もちろん観戦も好きです。

#### 医師になったきっかけ

祖父、父が呼吸器内科医で、治療後に患者さんに感謝される姿に憧れて医師を目指しました。内視鏡に興味を持ったのは、診断と治療まで行えることに感銘を受けたからです。

#### 趣味

家族との旅行。西表島や知床などの世界遺産を巡ったり、ハイキングにも出かけます。

#### 専門以外に興味を持つ分野

老年医学

#### 座右の銘

千里の道も一歩から

### 医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者さんのご紹介などを円滑に行えるように、「地域医療連携室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)